

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

令和7年 3月 7日

①事業者名	公益財団法人 日本漢字能力検定協会					
②測定ツール名	文章読解・作成能力検定 準2級					
③主な対象者	高校2年生から3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容 の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○					○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	義務教育段階で身につけた語彙力を土台として、文章の読解力や作成力、ひいては論理的思考力やコミュニケーション力を高めることを目的としています。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	「基礎力」「読解力」「作成力」に大別し、その能力を5つの大問により測定しています。特に一定数の文字量の文章を手書きで記述することを重視しており、準2級では100字程度の通信文、550字程度の論説文の作成を課しています。測定は1回で完結しますが、年間6日程すべてで同レベルかつ異なる問題（新しい問題）を出題しているため、複数回受検して学習の伸長度を確認することも可能です。受検者には標準解答に加え、受検結果資料として、通信文や論説文の作成において、採点ポイントごとに何ができていて何ができなかったのかをフィードバックしています。また、受検後の振り返り学習のためのプリントも提供しております。指導者向けには論説文の採点項目に沿って、どのような誤答がよくあり、どのように指導すればよりよくなるのかをまとめた資料を団体専用のWEBページより受検後ダウンロードできるようにして、学びのPDCAを補完する資料を提供しております。また、大学や企業での活用例も増えており、学習した内容や受検結果は、生徒の将来に役立ちます。					
⑧実施期間、年間実施回数	年間6日程（7月に1日程、8月～11月に2日程、1月～2月に3日程）のうち、学校側が都合のよい日程を選択して受検できます。すべての日程で異なる問題を作成しているため、クラスによって異なる日程（時期）を選択することも可能です。					
⑨実施方式 (CBT/PBT)	P B T					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	60分					
⑪受検料	3,000円/回					
⑫標準返却期間	約40日後					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://www.kanken.or.jp/bunshouken/					

※「⑤測定内容の区分」については、「基本タイプ」（義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定することを重視したタイプ）又は「標準タイプ」（高等学校段階の共通必修科目の学習内容の定着度合いを測定することを重視したタイプ）のいずれか一つを選択すること。